

ヤ-ボイ[®]
YERVOY[®]
(ipilimumab)
Injection for intravenous infusion

医療機関名

電話番号

担当医師

ヤーボイによる治療を 受けられる患者さんへ



監修

地方独立行政法人 大阪府立病院機構
大阪国際がんセンター 腫瘍皮膚科 主任部長
爲政 大幾 先生

はじめに

この小冊子は、ヤーボイによる悪性黒色腫の治療を受けられる方に、ヤーボイの作用や治療方法、予想される副作用について正しく理解していただくためのものです。治療を安全に受けさせていただくためには、副作用のことをよく知っていただくことが大切ですので、この小冊子の中でわかりやすく紹介しています。

治療中の気になる症状は、「治療日記」のページに記入していただけますので、お役立てください。わからないことや不安に思うこと、もっと詳しく知りたいことなどがありましたら、医師、薬剤師、看護師にご相談ください。

目次

ヤーボイの治療にあたって、知っていただきたいこと	4
ヤーボイの副作用にご注意ください！	6
悪性黒色腫（メラノーマ）の治療	8
ヤーボイってどんな薬？	10
どんな人がヤーボイの治療を受けることができるの？	11
治療スケジュール	12
ヤーボイの特に注意すべき副作用	13
1 消化管障害	13
2 肝障害	13
3 皮膚障害	14
4 神経障害	14
5 内分泌障害	15
6 腎障害	16
7 間質性肺疾患	16
8 薬剤の注入に伴う反応	17
9 そのほかの副作用と症状 貧血やリンパ球減少／食欲減退／眼の症状／関節痛	18
治療中の妊娠と授乳について	19
ワクチンの投与について	20
治療日記（記入例）	21
治療日記	22



ヤーボイの治療にあたって、知りたいこと ヤーボイの副作用にご注意ください!

ヤーボイは従来の抗がん剤とは異なり、免疫に作用する「がん免疫療法」のお薬です。そのため、ヤーボイによる副作用や、その対処法は、従来の抗がん剤とは異なります。

ご注意いただきたいこと

- ヤーボイは重大な副作用を引き起こす可能性があるため、右記の症状が現れた場合は、すぐに主治医に知らせましょう。
- 症状発現の早期に適切な対処を行えば、重症化を防ぎ、ヤーボイの治療を続けられることにつながります。
- これらの症状が現れても、市販の薬や栄養補助食品など主治医が処方したもの以外は使用しないでください。



ヤーボイの副作用は治療が終わってから
数週間後、数ヵ月後にも現れることがあります。
治療が終わった後も気になる症状があれば
医師に相談してください。

消化器

- 下痢（軟便）あるいは排便回数が増えた
- 便に血が混じる、便が黒い、便に粘り気がある
- 腹痛あるいは腹部の圧痛（押すなど圧迫した時に現れる痛み）がある

眼

- 視界がぼやける、物が二重に見える、いつもと見え方が異なる
- 眼が痛い、充血がある

皮膚・粘膜

- かゆみがある
- 皮膚がむける（水ぶくれがある場合と、ない場合がある）
- 発疹がある、赤くなる（かゆみがある場合と、ない場合がある）
- 口内炎

その他

- 発熱がある
- 息切れ、息苦しい
- 吐き気や嘔吐がある
- めまいや失神がある
- 疲れやすい
- 頭痛がある
- 足、腕、顔に力が入らない
- 行動の変化がある（性欲が減る、いろいろする、物忘れしやすい等）
- いつもより出血しやすい、あざができやすい
- 手足がしびれたり、刺すような痛みがある



悪性黒色腫(メラノーマ)の治療

悪性黒色腫の治療

悪性黒色腫の治療は、手術でがんを全部とってしまうことが基本です。転移のある患者さんや、手術が対象とならない患者さんでは、状態にあわせて化学療法(抗がん剤治療)、インターフェロン療法*、がん免疫療法(抗PD-1抗体、抗CTLA-4抗体**)、放射線療法などが行われます。

がん免疫療法とは?

化学療法や放射線療法は、がん細胞を直接攻撃する治療法です。したがって、がんを小さくする効果が早く現れると考えられています。

一方、がん免疫療法は、お薬が直接がん細胞を攻撃するものではなく、患者さん自身の「免疫」を利用します。そのため、がんが小さくなるまで時間がかかると考えられています。

*:インターフェロン

ウイルスの感染を受けた時などに体内で作られる蛋白質の一種です。インターフェロンの主な作用として、抗ウイルス作用や免疫増強作用、抗腫瘍作用などが知られています。

**:抗CTLA-4抗体については8~9ページをご参照ください。

免疫とは、体の外から病原菌やウイルスが入ってきたり、がんになったりすると(正常細胞ががん化すると)、それらを排除するために動きだす、体の中のさまざまなしきみのことをいいます。がん免疫療法は、患者さん自身のがんを攻撃する機能(免疫機能)を利用した治療法です。

ヤーボイは、患者さん自身の免疫機能を高める薬剤として、2015年7月に承認認可された抗CTLA-4抗体です。

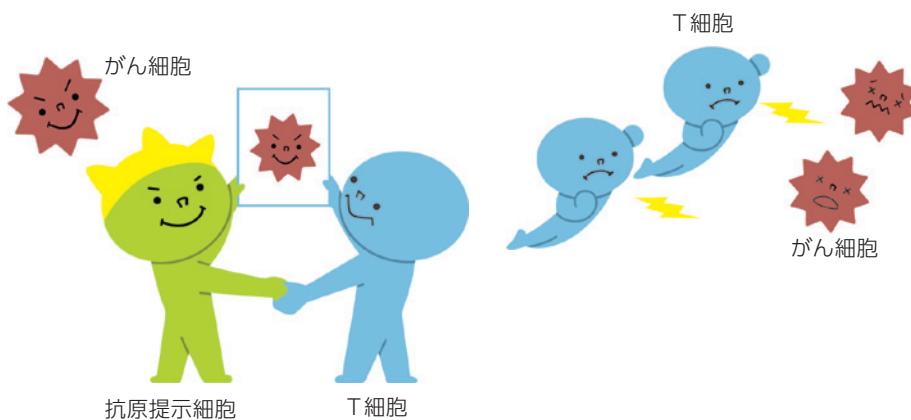




ヤーボイってどんな薬？

がん微小環境*の「免疫機能へのブレーキ」を解除、免疫機能の活性化を持続する

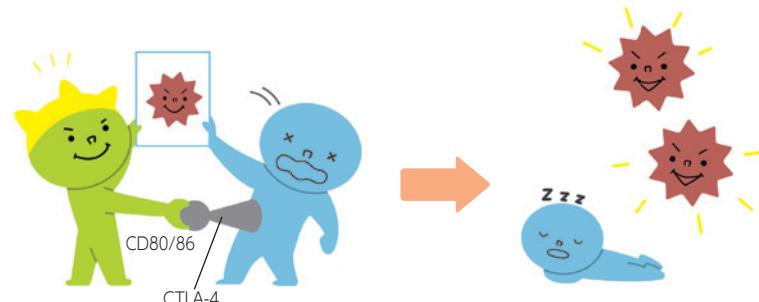
免疫機能は、体の中に入った病原菌やウイルスを「異物」と認識して攻撃します。がん細胞も同様に「異常な細胞」と認識されて、T細胞という免疫細胞が司令塔となって攻撃します。この「がん細胞=異物」という情報をT細胞に伝えるのが抗原提示細胞です。



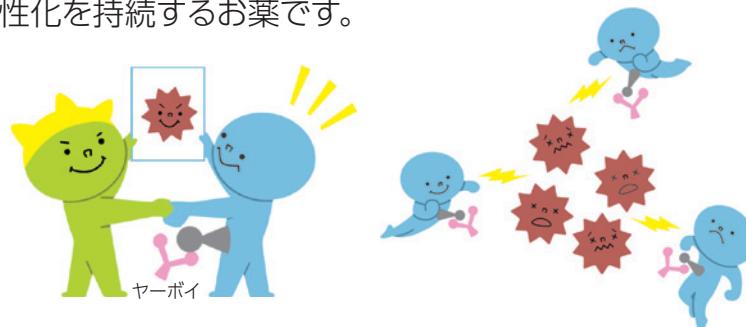
*: がん微小環境
がん細胞を取りまく周囲の環境のこと(本ページではT細胞、抗原提示細胞など)

攻撃を開始したT細胞には、自ら攻撃を終了する機能もあります。その役割を担うのが、T細胞上に発現するCTLA-4と呼ばれる分子です。

抗原提示細胞の表面にあるCD80/86という分子とCTLA-4が結合すると、CTLA-4は攻撃を止めるようにT細胞に伝えてしまいます。これが「免疫機能へのブレーキ」となります。



ヤーボイは、「免疫機能へのブレーキ」を解除して、免疫機能の活性化を持続するお薬です。



なお、T細胞にはいくつかの種類があり、その一つに制御性T細胞(Treg)があります。

Tregは免疫機能による攻撃が過剰にならないように調整する役割があります。ヤーボイはTregの機能を低下させたり、がん組織中のTregの数を減らすことで、さらにがんに対する攻撃力を高めると考えられています。



どんな人がヤーボイの治療を受けることができるの？

ヤーボイによる治療は、手術による治療が難しい悪性黒色腫の患者さんが対象となります。

ヤーボイの治療を受けることができない場合

ヤーボイに含まれている成分に対して、以前、アレルギー反応（気管支けいれん、全身性の皮膚障害、低血圧など）を起こしたことのある方は、さらに重いアレルギー反応が出る可能性があるため、ヤーボイの治療はできません。

ヤーボイの治療を慎重に検討する必要がある場合

次のような方は、ヤーボイによる治療ができないことがあります。

- 投与開始時に肝機能に異常のある方
- 自己免疫疾患*の方で、免疫の活動性が高い場合

*:自己免疫疾患

免疫機能が正常に機能しなくなり、自分の組織を攻撃してしまう病気で、甲状腺機能異常症や関節リウマチなどが自己免疫疾患に含まれます。



治療スケジュール

ヤーボイは、静脈から90分かけて点滴注射で投与します。投与量は、患者さんの体重によって決まります。

■■■ 投与スケジュール

ヤーボイは投与した次の日から20日間は休薬します。投与日と休薬期間をあわせた21日間を1サイクルとして、4サイクルの投与で終了します。

1サイクル(21日間)	2サイクル(21日間)	3サイクル(21日間)	4サイクル
ヤーボイ投与日	20日間の休薬	ヤーボイ投与日	20日間の休薬



ヤーボイの 特に注意すべき副作用

ヤーボイによる治療において、特に注意が必要な副作用は、炎症性の副作用、薬剤の注入に伴う反応などです。

● 炎症性の副作用とは

ヤーボイはがん細胞を攻撃するT細胞の働きを維持するお薬ですが、T細胞が過剰に働くと炎症性の副作用が起きることがあります。消化管、肝臓、皮膚、神経系、内分泌系などの器官に副作用が起きた場合、以下の症状が現れます。

消化管障害	下痢、腹痛などの症状が現れます
肝障害	血液中の肝酵素が基準値より高くなります
皮膚障害	発疹がある、赤くなる、かゆみなどの症状が現れます
神経障害	手足のしびれ、脱力などの症状が現れます
内分泌障害	頭痛、目の異常などの症状が現れます
腎障害	血液中のクレアチニンが基準値より高くなります
間質性肺疾患	息切れ、呼吸困難、空咳などの症状が現れます

これらの症状に気付いたら、自分で対処しようとせず、すぐに医師、看護師、薬剤師に連絡してください。炎症性の副作用に対して、**副腎皮質ホルモン(ステロイド)投与やホルモン補充療法**を行います。

1 消化管障害

下痢や、大腸に炎症が起こる大腸炎を発症することがあります。初期症状は、下痢、排便回数の増加、腹痛、血便です。これらの症状とともに、発熱を伴う場合もあります。
また、消化管に穴が空く消化管穿孔を起こすこともあります。

よく現れる症状

- 下痢(軟便)、排便の回数が増える
- 便の異常(便に血や粘液が混じる、便が黒い)
- 腹痛、腹部の圧痛(押すなど圧迫した時に痛む)
- 吐き気、嘔吐

2 肝障害

血液中の肝酵素(AST、ALT、総ビリルビン値など)の数値が基準値より高くなります。定期的に肝機能検査を行います。

よく現れる症状

- 血液中の肝酵素の増加
- 皮膚や白眼が黄色くなる(黄疸)
- いつもより疲れやすい



ヤーボイの 特に注意すべき副作用

③ 皮膚障害

かゆみや発疹など皮膚障害が現れることがあります。発疹には、かゆみがある場合と、かゆみがない場合があります。そのほかに皮膚がむける(水ぶくれがある場合と、ない場合がある)などの症状がみられます。熱を伴う全身の発疹や急激に悪くなった場合はただちに医師に連絡してください。

よく現れる症状

- かゆみ
- 発疹がある、赤くなる(かゆみがある場合と、ない場合がある)
- 皮膚がむける(水ぶくれがある場合と、ない場合がある)

④ 神経障害

筋力の減退、手足のしびれや脱力といった下記の症状がみられます。そのほかに髄膜炎や炎症性筋疾患などを起こすこともあります。

よく現れる症状

- 手足や顔に力が入らなくなる
- 手足にしびれや刺すような痛みが現れる
- めまい、失神
- 歩きにくくなる

⑤ 内分泌障害

新陳代謝を活発にする甲状腺ホルモンなどを分泌する内分泌器官に炎症を起こして、下垂体炎、下垂体機能低下症、甲状腺機能低下症、副腎機能不全などの内分泌障害を発症することがあります。これらの障害では、疲労、頭痛、視覚や行動の変化などの症状が現れることがあります。

よく現れる症状

- いつもより疲れやすい、眠くなりやすい
- 頭痛
- 視界がぼやける、物が二重に見える(視野欠損)
- 行動の変化(性欲が減る、イライラする、物忘れが増えるなど)
- 電解質異常(血液中のカリウムやナトリウムなどの数値が基準値よりも低い状態です)
- 低血圧



ヤーボイの 特に注意すべき副作用

6 腎障害

腎臓の機能が低下すると、血液中のクレアチニンの数値が基準値よりも高くなります。また、むくみ(浮腫)が起きたり、濃い色の尿が出たりします。

よく現れる症状

- むくみ(浮腫)
 - 尿の色が濃い(赤褐色など)
- など

7 間質性肺疾患

空気を取り込む肺胞という器官が炎症を起こす病気です。炎症が進むと、肺胞が硬くなってしまって空気を十分に取り込むことができなくなり、命に危険が及ぶおそれがあります。間質性肺疾患の初期には、酸素をうまく取り込めなくなり、息切れたり、息苦しいなど下記の症状が現れることもあります。

間質性肺疾患の初期症状

- 息切れ、息苦しい
 - 痰のない乾いた咳(空咳)
 - 発熱
 - 疲労
- など

⚠ 普段と異なる点や気になる症状があれば、
すぐに医師、看護師、薬剤師へ相談しましょう。

8 薬剤の注入に伴う反応

ヤーボイの投与中または投与後24時間以内に発熱、悪寒、ふるえ、かゆみ、発疹、高血圧や低血圧(めまい、ふらつき、頭痛)、呼吸困難などが現れることがあります。

点滴中や点滴後24時間以内に気になることや、普段と違うことがありましたら、医師、看護師、薬剤師にすぐに知らせましょう。



これらの副作用が出たら

ヤーボイを中止(または休薬)して回復を図ります。
早期発見が大切ですので、症状に気付いたら、
すぐに医師、看護師、薬剤師に知らせましょう。



ヤーボイの 特に注意すべき副作用

9 そのほかの副作用と症状

貧血や リンパ球減少	血液の中に含まれているヘモグロビンやリンパ球の数が減ることがあります。ヘモグロビンが減ると貧血を起こしやすくなったり、疲れやすくなったりします。リンパ球が減ると、風邪やそのほかの感染症にかかりやすくなります。
食欲減退	治療中に食欲が低下することがあります。食欲減退はよくみられる副作用のひとつです。
眼の症状	霧がかかったように見えたり(霧視)、眼が痛んだりします(眼痛)。また、ブドウ膜炎では眼球を覆う膜に炎症が起り、霧視や、まぶしかったり、虫が飛んでいるように見えたりします。進行すると、失明する可能性があります。
関節痛	関節が痛む、関節が腫れるなどの症状が現れます。

⚠ これらの症状が現れたら、
すぐに医師、看護師、薬剤師に知らせましょう。
また、治療日記に記録しておきましょう
(P.21をご覧ください)。

治療中の妊娠と授乳について

女性の患者さん

妊娠中にヤーボイを投与する、あるいはヤーボイ投与中の患者さんが妊娠した場合には、胎児に好ましくない影響や流産の可能性があります。そのため、妊娠または妊娠している可能性のある女性に対しては、治療による利益が危険を上回る場合には投与できません。ヤーボイ投与中を含め投与終了後1年間は、妊娠をしないように注意してください。妊娠した場合は、医師に相談してください。また、母乳を通じて乳児に影響が出るおそれがあるため、ヤーボイによる治療中は授乳をしないようにしてください。なお、避妊に関しては婦人科にご相談ください。



男性の患者さん

パートナーが妊娠する可能性のある場合、胎児に影響が出るおそれがあるため、ヤーボイ投与中を含め投与終了後1年間は、適切な避妊法を用いて避妊してください。またパートナーが妊娠している場合も胎児に影響が出るおそれがあるため、ヤーボイ投与中および投与終了後1年間は、適切な避妊法を用いてください。





ワクチンの投与について

ワクチン投与後の症状に注意しましょう

ヤーボイによる治療中に、何らかの病気を予防するために生ワクチン*または弱毒生ワクチン、不活化ワクチン**の接種を受けると、過度の免疫反応による症状などが現れることができます。これは、ヤーボイによって免疫機能が高まっているためです。ワクチンの投与後は、症状の有無に注意しましょう。

* : 生ワクチンまたは弱毒生ワクチンには次のようなものがあります。

MR (麻しん風しん混合) ワクチン、麻しん (はしか) ワクチン、風しんワクチン、おたふくかぜワクチン、水痘 (みずぼうそう) ワクチン、BCG (結核) ワクチンなど

**: 不活化ワクチンには次のようなものがあります。

DPT-IPV四種混合 (ジフテリア・百日せき・破傷風・不活化ポリオ) ワクチン、DPT三種混合 (ジフテリア・百日せき・破傷風) ワクチン、DT二種混合 (ジフテリア・破傷風) ワクチン、日本脳炎ワクチン、インフルエンザワクチン、A型肝炎ワクチン、B型肝炎ワクチン、肺炎球菌ワクチン、不活化ポリオワクチンなど



治療日記 (記入例)

毎日の体温を記入し、当てはまる症状に○と程度 (強・中・弱)、症状が現れた場合は発現部位を書き込みましょう。

月 / 日	11/10	11/11	11/12	11/13	11/14	11/15	11/16
曜 日	月	火	水	木	金	土	日
ヤーボイ投与	○	×	×	×	×	×	×
診察の有無	○				○	○	○
体 温	36.5	36.4	36.8	37.5	36.5	36.1	36.2
消化管	下 痢 (排便回数が増える) 便の異常 (粘液や血を伴う、便が黒い)						
	腹 痛			○			
肝 臓	皮膚や白眼が黄色くなる						
皮 膚	かゆみ						
口 腔	発疹がある、赤くなる 皮膚がむける 口内炎						
神 経	手足や顔に力が入らない 手足がしびれる めまい、失神 歩きにくい		○手				
内 分 泌	頭 痛				○強	○強	○強
	行動の変化 (性欲が減る、イライラする、物忘れが増える)						
腎 臓	むくみ (浮腫) がある 尿の色が濃い (赤褐色など)						
肺	息切れ、息苦しい せき			○			
眼	二重になる、視野が欠けるなど 見え方が変わる 目が痛い、充血する						
その他	疲れやすい 吐き気、嘔吐 出血・あざができやすい 食欲がない				○		
	医師への連絡				○		

このように、わかる範囲でご記入ください。
どのように記載してよいかわかりにくい場合は、
医師・薬剤師・看護師にご相談ください。

メモ (他の症状や気になることを書いてください)

11/10 手のしびれ、肘に痛み

11/14～11/16 頭痛が続く

治療日記 毎日の体温を記入し、当てはまる症状に○と程度(強・中・弱)、

月/日	/	/	/	/	/	/	/
曜日							
ヤーボイ投与							
診察の有無							
体温							
消化管	下痢(排便回数が増える)						
	便の異常(粘液や血を伴う、便が黒い)						
	腹痛						
肝臓	皮膚や白眼が黄色くなる						
皮膚	かゆみ						
口腔	発疹がある、赤くなる						
	皮膚がむける						
	口内炎						
神経	手足や顔に力が入らない						
	手足がしびれる						
	めまい、失神						
	歩きにくい						
内分泌	頭痛						
	行動の変化(性欲が減る、イライラする、物忘れが増える)						
腎臓	むくみ(浮腫)がある						
	尿の色が濃い(赤褐色など)						
肺	息切れ、息苦しい						
	せき						
眼	二重になる、視野が欠けるなど見え方が変わる						
	目が痛い、充血する						
その他	疲れやすい						
	吐き気、嘔吐						
	出血・あざができるやすい						
	食欲がない						
	医師への連絡						

メモ(他の症状や気になることを書いてください)

症状が現れた場合は発現部位を書き込みましょう。

月/日	/	/	/	/	/	/	/
曜日							
ヤーボイ投与							
診察の有無							
体温							
消化管	下痢(排便回数が増える)						
	便の異常(粘液や血を伴う、便が黒い)						
	腹痛						
肝臓	皮膚や白眼が黄色くなる						
皮膚	かゆみ						
口腔	発疹がある、赤くなる						
	皮膚がむける						
	口内炎						
神経	手足や顔に力が入らない						
	手足がしびれる						
	めまい、失神						
	歩きにくい						
内分泌	頭痛						
	行動の変化(性欲が減る、イライラする、物忘れが増える)						
腎臓	むくみ(浮腫)がある						
	尿の色が濃い(赤褐色など)						
肺	息切れ、息苦しい						
	せき						
眼	二重になる、視野が欠けるなど見え方が変わる						
	目が痛い、充血する						
その他	疲れやすい						
	吐き気、嘔吐						
	出血・あざができるやすい						
	食欲がない						
	医師への連絡						

メモ(他の症状や気になることを書いてください)

治療日記 毎日の体温を記入し、当てはまる症状に○と程度(強・中・弱)、

月/日	/	/	/	/	/	/	/
曜日							
ヤーボイ投与							
診察の有無							
体温							
消化管	下痢(排便回数が増える)						
	便の異常(粘液や血を伴う、便が黒い)						
	腹痛						
肝臓	皮膚や白眼が黄色くなる						
皮膚	かゆみ						
口腔	発疹がある、赤くなる						
	皮膚がむける						
	口内炎						
神経	手足や顔に力が入らない						
	手足がしびれる						
	めまい、失神						
	歩きにくい						
内分泌	頭痛						
	行動の変化(性欲が減る、イライラする、物忘れが増える)						
腎臓	むくみ(浮腫)がある						
	尿の色が濃い(赤褐色など)						
肺	息切れ、息苦しい						
	せき						
眼	二重になる、視野が欠けるなど見え方が変わる						
	目が痛い、充血する						
その他	疲れやすい						
	吐き気、嘔吐						
	出血・あざができるやすい						
	食欲がない						
	医師への連絡						

メモ(その他の症状や気になることを書いてください)

症状が現れた場合は発現部位を書き込みましょう。

月/日	/	/	/	/	/	/	/
曜日							
ヤーボイ投与							
診察の有無							
体温							
消化管	下痢(排便回数が増える)						
	便の異常(粘液や血を伴う、便が黒い)						
	腹痛						
肝臓	皮膚や白眼が黄色くなる						
皮膚	かゆみ						
口腔	発疹がある、赤くなる						
	皮膚がむける						
	口内炎						
神経	手足や顔に力が入らない						
	手足がしびれる						
	めまい、失神						
	歩きにくい						
内分泌	頭痛						
	行動の変化(性欲が減る、イライラする、物忘れが増える)						
腎臓	むくみ(浮腫)がある						
	尿の色が濃い(赤褐色など)						
肺	息切れ、息苦しい						
	せき						
眼	二重になる、視野が欠けるなど見え方が変わる						
	目が痛い、充血する						
その他	疲れやすい						
	吐き気、嘔吐						
	出血・あざができるやすい						
	食欲がない						
	医師への連絡						

メモ(その他の症状や気になることを書いてください)

治療日記 毎日の体温を記入し、当てはまる症状に○と程度(強・中・弱)、

月/日	/	/	/	/	/	/	/
曜日							
ヤーボイ投与							
診察の有無							
体温							
消化管	下痢(排便回数が増える)						
	便の異常(粘液や血を伴う、便が黒い)						
	腹痛						
肝臓	皮膚や白眼が黄色くなる						
皮膚	かゆみ						
口腔	発疹がある、赤くなる						
	皮膚がむける						
	口内炎						
神経	手足や顔に力が入らない						
	手足がしびれる						
	めまい、失神						
	歩きにくい						
内分泌	頭痛						
	行動の変化(性欲が減る、イライラする、物忘れが増える)						
腎臓	むくみ(浮腫)がある						
	尿の色が濃い(赤褐色など)						
肺	息切れ、息苦しい						
	せき						
眼	二重になる、視野が欠けるなど見え方が変わる						
	目が痛い、充血する						
その他	疲れやすい						
	吐き気、嘔吐						
	出血・あざができるやすい						
	食欲がない						
	医師への連絡						

メモ(他の症状や気になることを書いてください)

症状が現れた場合は発現部位を書き込みましょう。

月/日	/	/	/	/	/	/	/
曜日							
ヤーボイ投与							
診察の有無							
体温							
消化管	下痢(排便回数が増える)						
	便の異常(粘液や血を伴う、便が黒い)						
	腹痛						
肝臓	皮膚や白眼が黄色くなる						
皮膚	かゆみ						
口腔	発疹がある、赤くなる						
	皮膚がむける						
	口内炎						
神経	手足や顔に力が入らない						
	手足がしびれる						
	めまい、失神						
	歩きにくい						
内分泌	頭痛						
	行動の変化(性欲が減る、イライラする、物忘れが増える)						
腎臓	むくみ(浮腫)がある						
	尿の色が濃い(赤褐色など)						
肺	息切れ、息苦しい						
	せき						
眼	二重になる、視野が欠けるなど見え方が変わる						
	目が痛い、充血する						
その他	疲れやすい						
	吐き気、嘔吐						
	出血・あざができるやすい						
	食欲がない						
	医師への連絡						

メモ(他の症状や気になることを書いてください)

治療日記 毎日の体温を記入し、当てはまる症状に○と程度(強・中・弱)、

月/日	/	/	/	/	/	/	/
曜日							
ヤーボイ投与							
診察の有無							
体温							
消化管	下痢(排便回数が増える)						
	便の異常(粘液や血を伴う、便が黒い)						
	腹痛						
肝臓	皮膚や白眼が黄色くなる						
皮膚	かゆみ						
口腔	発疹がある、赤くなる						
	皮膚がむける						
	口内炎						
神経	手足や顔に力が入らない						
	手足がしびれる						
	めまい、失神						
	歩きにくい						
内分泌	頭痛						
	行動の変化(性欲が減る、イライラする、物忘れが増える)						
腎臓	むくみ(浮腫)がある						
	尿の色が濃い(赤褐色など)						
肺	息切れ、息苦しい						
	せき						
眼	二重になる、視野が欠けるなど見え方が変わる						
	目が痛い、充血する						
その他	疲れやすい						
	吐き気、嘔吐						
	出血・あざができるやすい						
	食欲がない						
	医師への連絡						

メモ(他の症状や気になることを書いてください)

症状が現れた場合は発現部位を書き込みましょう。

月/日	/	/	/	/	/	/	/
曜日							
ヤーボイ投与							
診察の有無							
体温							
消化管	下痢(排便回数が増える)						
	便の異常(粘液や血を伴う、便が黒い)						
	腹痛						
肝臓	皮膚や白眼が黄色くなる						
皮膚	かゆみ						
口腔	発疹がある、赤くなる						
	皮膚がむける						
	口内炎						
神経	手足や顔に力が入らない						
	手足がしびれる						
	めまい、失神						
	歩きにくい						
内分泌	頭痛						
	行動の変化(性欲が減る、イライラする、物忘れが増える)						
腎臓	むくみ(浮腫)がある						
	尿の色が濃い(赤褐色など)						
肺	息切れ、息苦しい						
	せき						
眼	二重になる、視野が欠けるなど見え方が変わる						
	目が痛い、充血する						
その他	疲れやすい						
	吐き気、嘔吐						
	出血・あざができるやすい						
	食欲がない						
	医師への連絡						

メモ(他の症状や気になることを書いてください)

治療日記 毎日の体温を記入し、当てはまる症状に○と程度(強・中・弱)、

月/日	/	/	/	/	/	/	/
曜日							
ヤーボイ投与							
診察の有無							
体温							
消化管	下痢(排便回数が増える)						
	便の異常(粘液や血を伴う、便が黒い)						
	腹痛						
肝臓	皮膚や白眼が黄色くなる						
皮膚	かゆみ						
口腔	発疹がある、赤くなる						
	皮膚がむける						
	口内炎						
神経	手足や顔に力が入らない						
	手足がしびれる						
	めまい、失神						
	歩きにくい						
内分泌	頭痛						
	行動の変化(性欲が減る、イライラする、物忘れが増える)						
腎臓	むくみ(浮腫)がある						
	尿の色が濃い(赤褐色など)						
肺	息切れ、息苦しい						
	せき						
眼	二重になる、視野が欠けるなど見え方が変わる						
	目が痛い、充血する						
その他	疲れやすい						
	吐き気、嘔吐						
	出血・あざができるやすい						
	食欲がない						
	医師への連絡						

メモ(他の症状や気になることを書いてください)

症状が現れた場合は発現部位を書き込みましょう。

月/日	/	/	/	/	/	/	/
曜日							
ヤーボイ投与							
診察の有無							
体温							
消化管	下痢(排便回数が増える)						
	便の異常(粘液や血を伴う、便が黒い)						
	腹痛						
肝臓	皮膚や白眼が黄色くなる						
皮膚	かゆみ						
口腔	発疹がある、赤くなる						
	皮膚がむける						
	口内炎						
神経	手足や顔に力が入らない						
	手足がしびれる						
	めまい、失神						
	歩きにくい						
内分泌	頭痛						
	行動の変化(性欲が減る、イライラする、物忘れが増える)						
腎臓	むくみ(浮腫)がある						
	尿の色が濃い(赤褐色など)						
肺	息切れ、息苦しい						
	せき						
眼	二重になる、視野が欠けるなど見え方が変わる						
	目が痛い、充血する						
その他	疲れやすい						
	吐き気、嘔吐						
	出血・あざができるやすい						
	食欲がない						
	医師への連絡						

メモ(他の症状や気になることを書いてください)

治療日記 毎日の体温を記入し、当てはまる症状に○と程度(強・中・弱)、

月/日	/	/	/	/	/	/	/
曜日							
ヤーボイ投与							
診察の有無							
体温							
消化管	下痢(排便回数が増える)						
	便の異常(粘液や血を伴う、便が黒い)						
	腹痛						
肝臓	皮膚や白眼が黄色くなる						
皮膚	かゆみ						
口腔	発疹がある、赤くなる						
	皮膚がむける						
	口内炎						
神経	手足や顔に力が入らない						
	手足がしびれる						
	めまい、失神						
	歩きにくい						
内分泌	頭痛						
	行動の変化(性欲が減る、イライラする、物忘れが増える)						
腎臓	むくみ(浮腫)がある						
	尿の色が濃い(赤褐色など)						
肺	息切れ、息苦しい						
	せき						
眼	二重になる、視野が欠けるなど見え方が変わる						
	目が痛い、充血する						
その他	疲れやすい						
	吐き気、嘔吐						
	出血・あざができるやすい						
	食欲がない						
	医師への連絡						

メモ(その他の症状や気になることを書いてください)

症状が現れた場合は発現部位を書き込みましょう。

月/日	/	/	/	/	/	/	/
曜日							
ヤーボイ投与							
診察の有無							
体温							
消化管	下痢(排便回数が増える)						
	便の異常(粘液や血を伴う、便が黒い)						
	腹痛						
肝臓	皮膚や白眼が黄色くなる						
皮膚	かゆみ						
口腔	発疹がある、赤くなる						
	皮膚がむける						
	口内炎						
神経	手足や顔に力が入らない						
	手足がしびれる						
	めまい、失神						
	歩きにくい						
内分泌	頭痛						
	行動の変化(性欲が減る、イライラする、物忘れが増える)						
腎臓	むくみ(浮腫)がある						
	尿の色が濃い(赤褐色など)						
肺	息切れ、息苦しい						
	せき						
眼	二重になる、視野が欠けるなど見え方が変わる						
	目が痛い、充血する						
その他	疲れやすい						
	吐き気、嘔吐						
	出血・あざができるやすい						
	食欲がない						
	医師への連絡						

メモ(その他の症状や気になることを書いてください)